

[社会・地域への責任と行動]

教育、文化、スポーツなど、ムラタが展開している
社会・地域貢献の一端をご紹介します。



誰かのためになりたい、
そんな気持ちが集まって。

写真左より
株式会社出雲村田製作所
管理部
日野 利一 / 金田 忠士 / 山本 めぐみ / 田井 薫
若槻 あや / 勝部 保 / 勝部 透 / 大原 安典

喜んでもらえると、嬉しい。
そんな素直な気持ちで活動を展開。

出雲村田製作所では、事業所を開設した1984年当時から「森の中の工場づくり」のスローガンを掲げ、桜と椿の植栽を続けてきました。1994年からは、一般公開を開始。小学生を対象に、ムラタオリジナルの自転車型ロボット「ムラタセイサク君®」と一輪車型ロボット「ムラタセイコちゃん®」が登場する科学学習や環境学習もあわせて開催しています。これらの活動を、私たちは「地域貢献」というよりも「地域交流」と位置づけています。貢献できているかどうかは、相手が感じてくれること、私たちは地域のみなさまと交流したい一心でやっています。だから、来場されたお客様には、私たちスタッフの方から積極的に声をかけます。そのために、みんな桜や椿のことを勉強しています。スタッフは社員のボランティアですが、年々参加者が増え、今では200人以上。来場されたお客様の「楽しか

った」「出雲ムラタはがんばってるね」という声が伝わってきます。喜んでもらえると、嬉しい。これは、人間としての素直な感情ではないでしょうか。地域・社会の方々に受け入れてもらうと同時に、出雲村田製作所の一員でよかったと思えるように、さらに充実した活動にしていこうと張り切っています。



椿と桜の一般公開の様子。

世界に「理科好き」を広げよう!
セイサク君、セイコちゃん、海外出張へ。

このたび、ムラタセイサク君®とムラタセイコちゃん®を連れて、マレーシアのMurata Electronics (Malaysia) Sdn. Bhd.の近隣にある高校、大学、ショッピングモールなどを訪問しました。地域の方々にムラタの技術を理解していただくとともに、理科や科学の面白さを感じていただくため、約1週間かけてこのイベントを実施しました。小学生、高校生、大学生、ビジネスマン、そのほか大勢の方々に参加いただき、楽しんでいただくことができました。Malaysia Technology Expo 2011では、Innovation & Innovation シルバー賞を頂くなど高く評価されました。グローバルに展開しているムラタの拠点を中心に、セイサク君、セイコちゃんは今後も様々な国や地域で理科や科学の面白さを伝えていきます。



大勢の方に見守られながら走るセイサク君。

東日本大震災への支援活動

2011年3月11日に発生した東日本大震災による被災者の救済および被災地の復興支援のため、村田製作所では日本赤十字社を通じて、1億円を寄付いたしました。また、震災発生翌週からは、被災した宮城県の工場への支援とあわせて、地元に対し、食料品や日用品などの生活必需品を提供し、被災者の生活支援に役立ててもらいました。さらに、国内外のムラタグループ各拠点では、従業員および各種イベントを通じての募金活動が展開されました。海外の拠点では、集まった寄付金と同額を会社側が上乘せするマッチングギフトも実施しました。これらの募金で、各国の赤十字社や日本領事館などを通じて被災者のための寄付や、被災した従業員への支援を行いました。



撮影者/Mr. Anestis Aslanidis 提供元/Nürnberger Zeitung (ドイツ)



(タイ)